

【表紙の漢詩】

魚鼈蛟龍何処辺

(魚もぐれりいつかのくわ)

蒼波萬傾尽稻田

(あわせせせんかとひらひへこなだじなる)

若教世道如人意

(わしおしゃせじゆいひじごのじへくせ)

壹費經綸二百年

(おにけつてんとひやくねそをひこやせ)

(意味)

魚やべアボン みずちせ品井沼のいにし見うねるだんつか

今や見渡す限り青い波打つ稻田となる

もじせの中の事柄が人の意のままになるのならば
じつじて二百年の苦心を費やすといひがあのつか

みずち・水中に住む竜の一種。蛇に似て、四足があり、

大きこものは人をのむと云へ。

鎌田三之助が明治四十三年十一月二十六日

明治潛穴通水の感激を託した漢詩。



黄金色の稲穂が広がる品井沼地区 (2010.9.4撮影)